

2015年5月18日

人とくるまのテクノロジー展 2015 出展概要

いすゞ自動車株式会社(本社:東京都品川区、社長:細井行、以下「いすゞ」)は、5月20日(水)～22日(金)にパシフィコ横浜で開催される『人とくるまのテクノロジー展 2015』(主催:公益社団法人自動車技術会)に、『暮らしを支える環境・安全技術』をコンセプトに、商用車に求められる環境技術で社会に貢献するいすゞの取り組みをご紹介します。

主な展示内容は以下の通りです。

NO.	
1	小型トラック「エルフ」ハイブリッド車<実車展示>
2	4JJ1-TCS エンジン<実機展示>
3	車両技術・ハイブリッド技術・4JJ1-TCS 技術<パネル展示・映像>

【小型トラック「エルフ」ハイブリッド車】

新型「エルフ」ハイブリッド車では、モーター駆動のみで走行することで騒音に配慮した静かな走行ができる「EV モード」の追加、および省燃費走行をサポートする「スマートグライド+e」のサポート領域の範囲拡大により、ハイブリッド機能をより活用できるようになっています。会場では、実車展示に加え、その技術をパネルでご紹介します。

【4JJ1-TCS エンジン】

排気量 3.0 リッター、最高出力 110kW(150PS)。小型トラック「エルフ」に搭載しています。2 ステージターボを搭載し、エンジンの全回転域で高効率なターボ効果を発揮します。

街中での配送に要求されるストップ&ゴーの多い走行を考慮しつつ、環境性能と経済性能を両立したクリーンなエンジンで、尿素水を使用することなくポスト新長期排出ガス規制に適合しています。会場では、展示用エンジンでご紹介します。

【車両技術・ハイブリッド技術・4JJ1-TCS 技術】

可変パワーステアリングポンプや新型インジェクターの採用、低圧縮化、DPD の改良に加え、MT 車での「ECONO モード」、また主要車型に標準装備となったアイドリングストップ&スタートシステム「ecostop」といった新型「エルフ」の最新技術をパネルでご紹介します。また、映像展示として、これらの技術を集約したスライドでご紹介します。

以上